

再エネとICTを活用した 中山間地域で持続的に支えあう交通づくり



2019年5月13日 第12回EST普及推進フォーラム

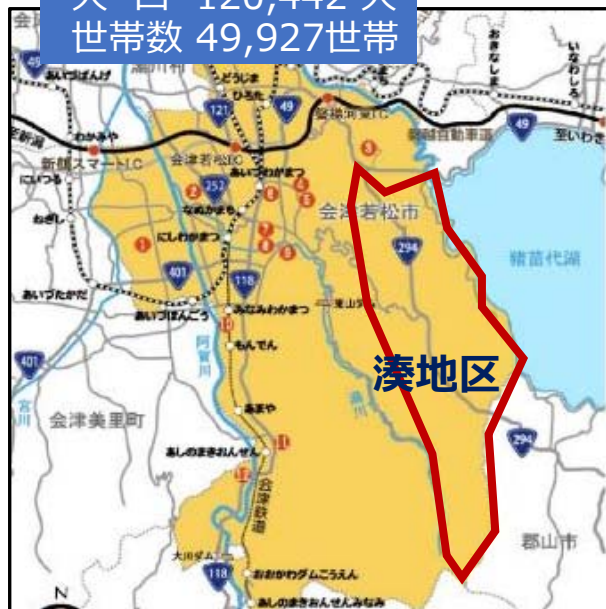
会津若松市
湊まちづくりネット

会津若松市の概況

会津若松市
湊まちづくりネット



2019年3月現在
人口 120,442 人
世帯数 49,927 世帯



地理

福島県の西部に位置しており、磐梯山や猪苗代湖などの豊かな自然に囲まれた、自然景観に恵まれたまち

産業

国内有数の観光産業（鶴ヶ城、白虎隊等）
稲作を中心とした農業と酒、漆器等の地場産業
ICT関連の最先端産業・IT関連産業の創設



会津大学

平成5年に開学した県立のICT専門大学
先進のソフト/ハードウェアサイエンティスト養成を目的
コンピュータ関連と英語教育に特徴



- ・コンピュータサイエンス領域で研究者数は全国1位（研究者100名）
- ・コンピュータサイエンス領域で学生数は全国1位（毎年240名入学）
- ・大学発ベンチャー数は公立大学で全国1位
- ・スーパーグローバル大学（文部科学省）に採択

スマートシティの取組、地域公共交通の取組

会津若松市
湊まちづくりネット

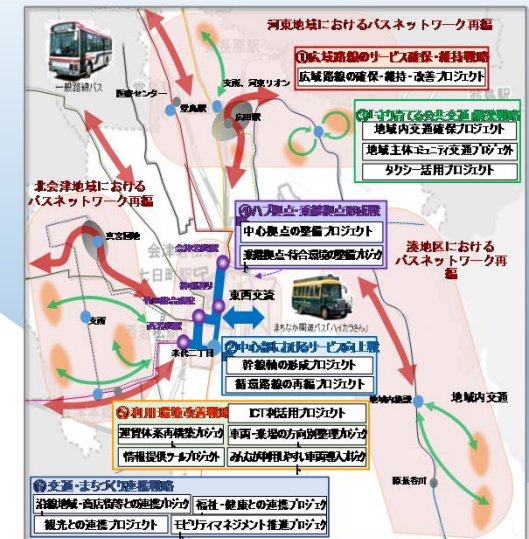
スマートシティ会津若松



会津大学や多くのICT企業が立地している特徴を活かし、様々な分野で、ICTや環境技術を活用した取り組みを進める。



市地域公共交通網形成計画



【スマートバス停実証設置】



【バスロケの導入】



湊地区の概況

会津若松市
湊まちづくりネット

<概況>

- ・昭和30年 に会津若松市に編入
- ・人口1,700人、508世帯（2019年3月
現在、特養入居者を除く）
- ・高齢化率約41%（市全体約30%）
- ・主産業 農業

<地域課題>

- ・人口が減っている（毎年約50人減）
- ・子どもが少ない（4校あった小学校は1校に）
- ・農業の後継者不足 ・交通の便が悪い
- ・地域内に病院やスーパーがない
- ・超高速ブロードバンド環境が整備されていない



地域の絆が強い



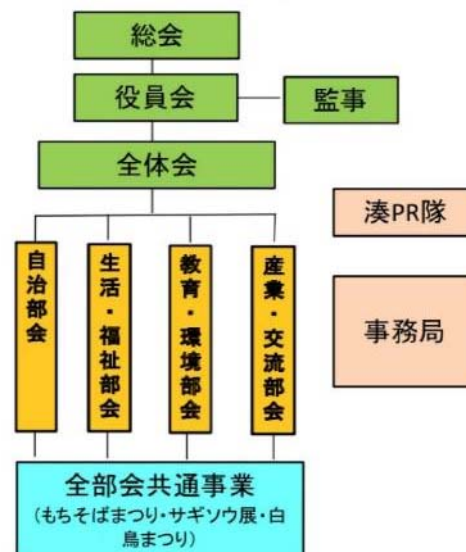
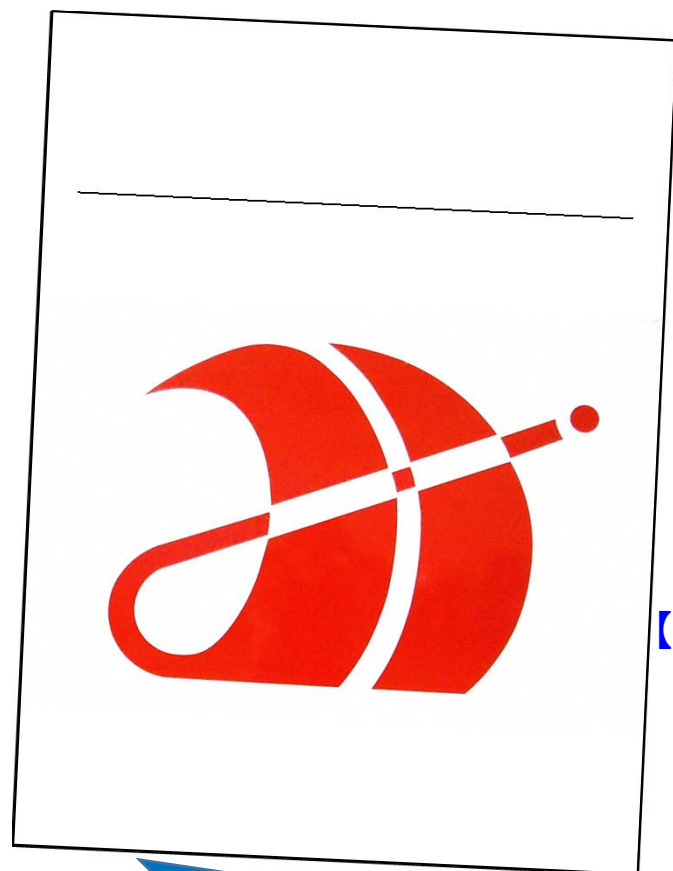
景色が綺麗



みんなと湊まちづくりネットワーク(湊活性化協)の概要

会津若松市
湊まちづくりネット

市内でも最も厳しい生活環境にあり、過疎・人口減少等の課題を抱える地域。住民を起点とした地域の活性化を目指し、区長会や各種団体により平成27年に協議会を設立。農産物直売所の運営やイベントの企画、高齢者への移動支援など、地域課題解決に向け主体的かつ多角的に活動を展開。



【地域づくりビジョンの将来像・目標】

みんなと地域が
輝き続けるまち
(持続的な地域運営)

地域の宝を活用
した地域づくり
(地域資源の循環)

共助
支えあい

住民みんなが活躍
する地域づくり
(地域人材の循環)

4月23日総会より、地区社会福祉協議会の機能をさらに付加し、会のさらなる発展を願い「みんなと湊まちづくりネットワーク」に改称

【追加スライド】全体会議、部会の様子

会津若松市
湊まちづくりネット

部会の様子



4年間欠かさず、
毎月1回、全体会・部
会、事務局戦略会議、
役員会が開催され、熱い
議論の交わされています



全体会の様子

みんなと湊まちづくりネットワークにおける取組①

会津若松市
湊まちづくりネット

「湊産青空農産物直売所」28年度～

地域の主産業である農業の活性化と産業の創出を目的に開設

- ・7～10月の土日に基幹集落センター駐車場に開設
- ・スタッフは、産業振興部会員の他、各部会からの協力を得て運営
- ・平成30年度からは、車を持たない高齢者等も出品できるように、「みなとバス」で一部出品者の集荷も行う
- ・実績 28年度:29日間64万円、29年度:30日間91万円
30年度:30日間114万円の見込み



農家の販路拡大や高齢者の
小遣い稼ぎ、販売員の雇用
⇒小さいながらも地域内での
経済循環の一つに繋げる



直売市で地域活性 6

みんなと湊まちづくりネットワークにおける取組②

会津若松市
湊まちづくりネット

「湊交流バス」28年度～

地域内の交通が不便。高齢者の移動の支援と交流の促進を図るために運行

- ・文化祭など地域行事にあわせ年7回程度運行、利用料は無料
- ・車両は、特養老人ホームの送迎車両を実費弁償で借り受け
- ・運転手等、地域のボランティアスタッフによる運行
- ・将来的なバス運行に繋げていくため、利用者には通院や買物などについてアンケートやヒアリングを行う

【生活福祉部会スタッフ】



29年度からの市実証運行事業を受託する基盤となる

高齢者のおでかけを後押し
⇒地域内の交流機会の増加に繋げる



みんなと湊まちづくりネットワークにおける取組③

会津若松市
湊まちづくりネット

「“おでかけ”ふれあいサロン」28年度～

高齢者の外出支援と地域間の交流促進を図るために企画。計 5 回開催

①【稽古堂学習ツアー】



③【道の駅めぐりツアー】



②【湊の名所を巡るツアー】



⑤【柳津町を訪ねるツアー】



高齢者などの
集落間交流の場
⇒地域内の交流機会の
増加に繋げる

④【湊の地名を訪ねるツアー】



みんなと湊まちづくりネットワークにおける取組④

会津若松市
湊まちづくりネット

「路線バス乗車体験ツアー」29年度～

バスを利用したライフスタイルを体験・学習していただくことで、通常のバス利用に繋げる。計3回開催。



日頃乗らない路線
バスで遠足気分♪
⇒公共交通の利用
促進に繋げる



いきいきわくわく介護予防教室

番外編



路線バスに乗って買い物に出かけよう

日時：平成30年9月21日（金）

集合時間：午前9時30分

集合場所：湊公民館前

行先：リオンドール河東店

参加者
18名



平成30年9月21日 いきいきわくわく介護予防教室&湊地区地域活性化協議会

行程

公共交通会議

時間	項目	内容
9:30	公民館前集合	あいさつ、人数確認
9:35 ～10:05	乗り方教室	約30分間 時刻表、運賃表、お得な回数券
10:10	公民館出発	「しらとり保育園」バス停
10:18	路線バス乗車	「しらとり保育園」バス停出発
10:49	路線バス降車	「リオンドール河東店」バス停着
10:50 ～11:35	各自お買物等	約40分間の自由行動 リオンドール、コメ、サバトトラックなど
11:35	バス停前集合	人数確認
11:39	路線バス乗車	「リオンドール河東店」バス停出発
12:14	路線バス降車	「しらとり保育園」バス停
12:15	公民館前解散	感想、解散のこたば

みんなと湊まちづくりネットワークにおける取組⑤

会津若松市
湊まちづくりネット

地域の活性化を目的に地域資源を生かした新たな地域イベントを企画・運営。

「湊もち・そばまつり」28年度～

湊特産のそばと、名物「豆腐もち」を活用した食のイベント



「湊 白鳥まつり」28年度～

湊地区に飛来する白鳥をシンボルにしたイベント



2.25 (日) 10:00～15:00

湊に来て！見て！食べて！
⇒地域資源を活かし、地域外
の来訪者の増加に繋げる



みんなと湊まちづくりネットワークにおける取組⑥

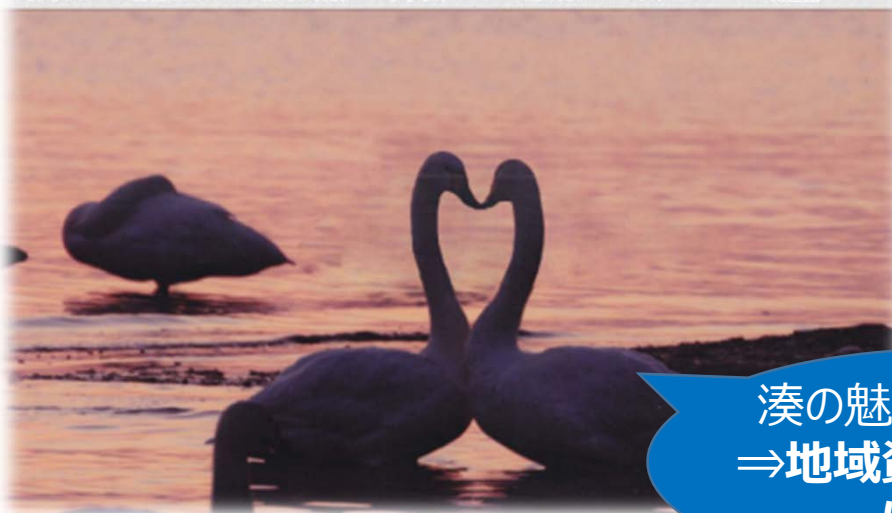
会津若松市
湊まちづくりネット

多角的かつ楽しみながら地域内外に情報を発信

みんなと★湊町

【ホームページ】

湊町とは 協議会のこと 湊町の自慢 フォトギャラリー 歳時記 アクセス 特産品



湊の魅力を知って！
⇒地域資源を最大限
にPR

【湊PRバンド】



【湊観光ガイドブック】



【みなと笑顔通信】



【地域CM大賞】作チームのみなさん



再エネとICTを活用した中山間地域で持続的に支えあう交通づくりの概要①

会津若松市
湊まちづくりネット

スマートシティ会津若松の取組の一つとして、過疎・人口減少等の課題を抱えながら、主体的な地域づくり活動を展開する湊地区をモデルに、再生可能エネルギーやICT、交通を活用し、地域との協働・連携による実証事業に取り組むことで、中山間地域コミュニティの維持・活性化を目指す。

29・30年度
地方創生推進
交付金を活用し
た事業

会津若松市

生活支援システム構築事業

共助による地域づくりを支援する手法の一つとして、地域に密着した情報提供や意思伝達のやり取りを、インターネットを介したテレビにより行うシステムを構築するとともに、地域自らによる運営・維持のあり方を検証する。

中山間地域内交通実証運行事業

地域での移動が課題となっている湊地区において、高齢者の買物・通院等の人移動支援はもとより、農産物等の物の移動も担うような持続的な交通のあり方を、地域の方々との連携・協働の手法により検証する。

再エネ×ICT×交通



委託

(株)関西ブロードバンド
(通信事業者)



湊まちづくりネットワーク
(湊地区地域活性化協議会)



(株)エコ・パワー
(風力発電事業者)
(株)日産自動車
(自動車メーカー)

再エネとICTを活用した中山間地域で持続的に支えあう交通づくりの概要②

会津若松市
湊まちづくりネット

スマートシティ会津若松



生活支援システム構築事業

約400世帯のテレビに情報端末を設置



ICTの活用

再エネの地産地消



電気自動車は風力発電の電気を利用

会津若松市

コミュニティ維持、移動等の課題を抱える湊地区をモデルに、地域の主体的な活動を基軸に、ICTや地域交通を活用し、コミュニティの活性化を目指す

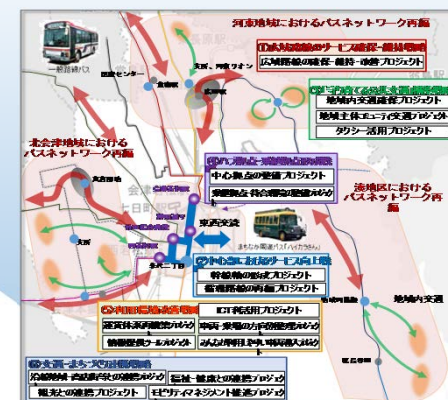


無償貸与された電気自動車
住民による多目的での利用・運行



湊まちづくりネットワーク

会津若松市地域公共交通網形成計画



中山間地域内交通 実証運行事業

地域内外の移動手段の確保

路線バス
への
乗り継ぎ



貨客混載



直売所の野菜も運搬

生活支援システム構築事業の概要

会津若松市
湊まちづくりネット



地域情報の共有・発信
⇒地域でのコミュニケーションの活性化、交流の活性化に繋げる

<概要>

- ・インターネットに接続されたセットトップボックスを各家庭のテレビに設置
- ・情報弱者になりがちな高齢者でも必要な情報に容易にアクセスできることを目指す

<設置状況>

- ・401/500世帯
(H31.3末現在)

<運用>

- ・地域情報の発信は、地域（協議会、学校、公民館）が中心に運用



バス予約



見守りサービス

民生委員



地域情報発信

協議会

中山間地域内交通実証運行事業の概要①

会津若松市
湊まちづくりネット

①運営・運行のための組織づくり

・仕組みづくり事業

- ・先進地視察、研修会、人材・資源調査など

②地域内交通実証運行事業

- ・日産からの貸与EV車e-nv200を実証運行を目的として地域に貸与
- ・運転手等は地域で確保
- ・利用者からは運賃は徴収しない
- ・湊地区内のみ運行とする
- ・利用者へのヒアリングやアンケート調査等により地域需要を把握・分析

③複合的な交通サービスの検討

- ・人の移動のための運行にあわせ、農産物直売所の集荷やイベントでの活用など、多用途での活用を検討

協議会へ業務委託



湊まちづくりネットワーク(湊地区地域活性化協議会)

- 地域の特性・実情に応じた持続可能な交通のあり方を見定める
- 地域住民による、地域住民のための交通を目指す
- 将来的な、NPO法人化、公共交通空白地有償運送の登録の可能性を検証する

中山間地域内交通実証運行事業の取組①運行体制

会津若松市
湊まちづくりネット

「運営・運行のための組織づくり・仕組みづくり事業」

- ・将来的な公共交通空白地有償運送等の可能性を見据えた取組
- ・協議会が実証運行を受託し、地域住民が自ら運転スタッフを担う

【運営・運行体制】

湊地区地域活性化協議会		
運営		運行
生活福祉部会	「みなとバス」スタッフ	
	受付事務員兼運転手	スポット運転
・運行計画の検討、策定 ・利用促進策の検討、実施	・事務、経理、相談対応 ・予約電話の受付 ・必要世帯への訪問等 ・日中帯の運転業務	・路線バス接続便のための予約あった時のみの運転業務

地域人材を生かした、持続的な取り組みを目指す



【運行スタッフ研修会】



【風力発電の電気を活用】

【会津若松ウインドファーム】

地域資源を活かし、持続的な運行を目指す

環境保全やCO2削減にも繋げる

【日産が電気自動車を貸与】



【追加スライド】環境に配慮した取り組み

会津若松市
湊まちづくりネット

再生可能エネルギーの地産地消



【会津若松ウィンドファーム】

- ・発電容量16,000kw (2,000kw×8基)
- ・予測発電量 約4,400万kw
(約9,850世帯分の電気使用量)
- ・事業者：エコ・パワー株式会社
- ・平成27年7月より運転開始
- ・地域貢献のために、湊地区内に無料の急速充電施設を設置
- ・EV車の電源として活用



日産e-NV200無償貸与プロジェクト

EVで実証実験へ

運転免許を持たない高齢者が増えている会津若松市湊町で10月、風力発電や情報通信技術（ICT）を活用したデマンド交通（予約型乗合自動車）の実証実験が始まる。市や地元団体が、風力発電の電気などを使いながら日産自動車から3年間無償貸与されるワゴンタイプ（7人乗り）の電気自動車（EV）「e-NV200」を地域の「足」として活用する。中山間地域が抱える課題解決に向けたモデル事業として成果が注目される。



若松 日産が車両無償貸与



【日産e-NV200】

長島社長から電気自動車のレプリカキーを受ける室井市長

デマンド交通として成果が注目される。実証実験のイメージは【図】の通り。同市湊町は幹線道路を路線バスが通り、イベント時に交流バスが運行するが、移動手段の支援を必要とする人が広いエリアに散在する地域特性がある。

ら、路線バスの停留所や商店までの移動を支援する手法が検討されてきた。8基の風力発電設備があるため、近くの変電所に設けられている急速充電器で充電すればエネルギーの地産地消が可能となるという。生活支援システム構築事業

業として各家庭のテレビ画面にインターネット情報を映し出す「みなとチャンネル」（仮称）が導入される予定で、EVの運行状況の表示などを検討する。運行は同町のみを想定しており、通院や買い物での利用だけでなく、直売所への農産物の運搬など利活用の手法を今後協議する。地元の湊地区地域活性化協議会（小松山昭一会長）が市と連携してドライバーや予約を受けるオペレーターの雇用など運用方法を検討する。

同町で11日、EVの貸与式が行われた。長島健博日産フランス福島販売社長が室井照平市長にレプリカキーを手渡した。小松山会長は「登録制の運用を考えており、最大限の効果が発揮できるよう、修正を加えながらより良い運行を考えていきたい」と語った。

- ・日産自動車株式会社
- ・平成28年3月から3年間の無償貸与
- ・ワゴンタイプのEV車、定員7名

中山間地域内交通実証運行事業の取組②運行計画

会津若松市
湊まちづくりネット



【路線バス接続便】～中心市街地の病院やスーパーなどに行きたい方

路線バス「河東・湊線」や中央病院バスへ乗り継ぐための送迎用の便となります。
 北側にお住まいの方は強清水、南側にお住まいの方は湊小学校前までの送迎を基本とします。
 〵の便から、ご利用したい行きの便、帰りの便を選んで、ご予約ください。

行き 3 便	帰り 4 便
出発時刻の前(20～30 分前)までに、「みなとバス」で自宅までお迎えに伺い、路線バスのバス停までお送りいたします。	
【湊小学校前】7:55 発、9:00 発、10:20 発	【竹田病院前】11:35 発、13:05 発、14:25 発、15:25 発
【強清水】8:04 発、9:09 発、10:29 発	【神明通り】11:40 発、13:10 発、14:30 発、15:30 発
※午後の便をご利用の方は受付までご相談ください	【中央病院前】11:55 発、13:25 発、14:45 発、15:45 発
	【〵・河東】12:09 発、13:39 発、14:59 発、15:59 発
	【強清水】12:31 着、14:01 着、15:21 着、16:21 着
	【湊小学校前】12:43 着、14:13 着、15:33 着、16:33 着
【〵・河東】8:24 着、9:29 着、10:49 着	路線バスの到着時刻にあわせ、バス停前で「みなとバス」でお待ちし、ご自宅までお送りいたします。
【中央病院前】8:37 着、9:42 着、11:02 着	
【神明通り】8:52 着、9:57 着、11:17 着	
【竹田病院前】8:58 着、10:03 着、11:23 着	

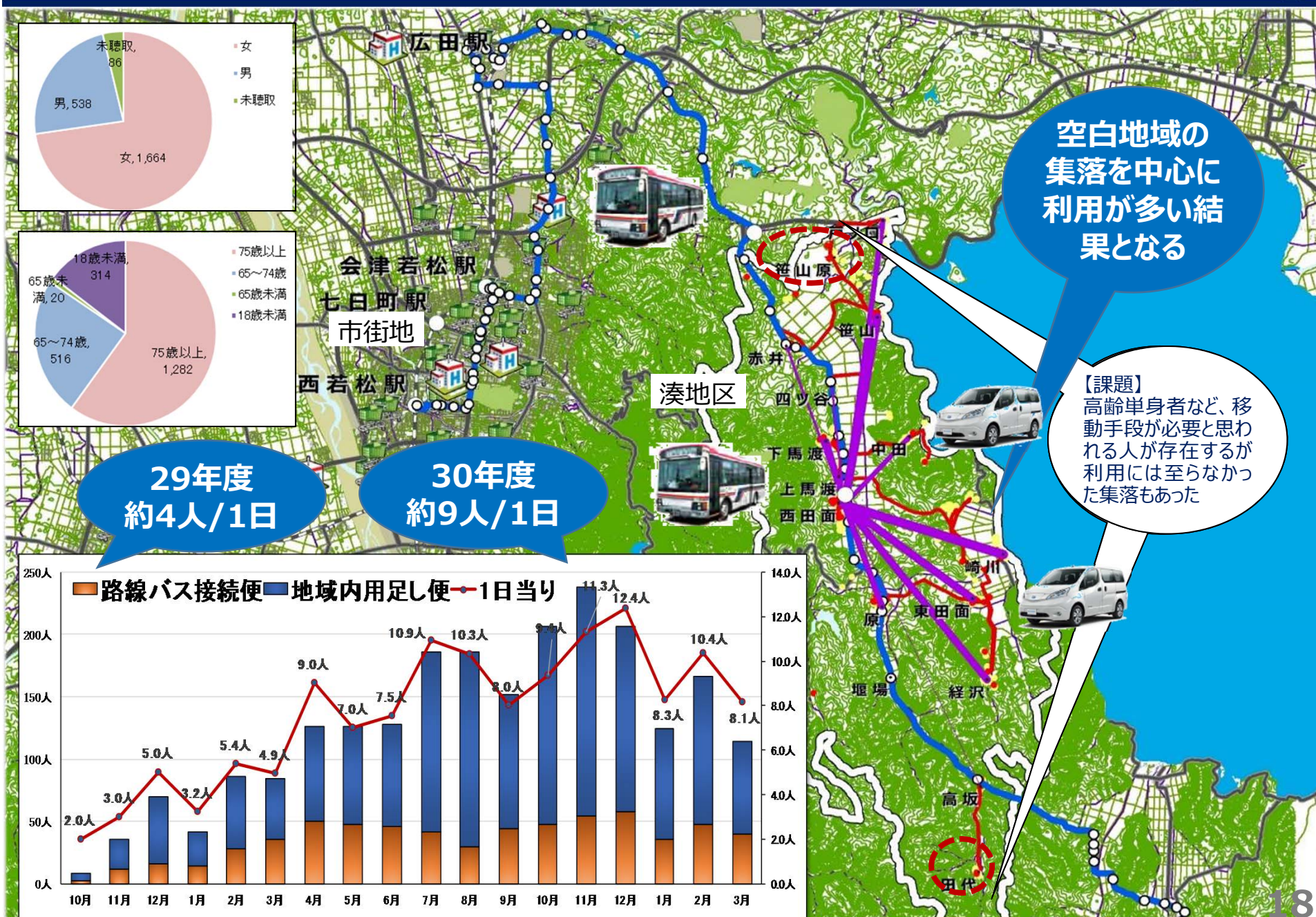
【地域内用足し便】～公民館、集落センター、農協、セブンイレブン、郵便局、湊内の各集落

各集落への移動にご利用する場合には、必ず前日までに、ご予約・ご相談ください
 ※路線バス接続便等の予約の状況により、希望通りの運行ができないことがありますのでご了承ください

行き	帰り	目的地
ご自宅⇄目的地		公民館、集落センター、農協、セブンイレブン、郵便局
9:30～12:00 ※可能な範囲で午後も対応いたします		湊地区内各集落への移動

中山間地域内交通実証運行事業の取組③運行実績

会津若松市
湊まちづくりネット



「複合的な交通サービスの検討」

【いきいき百歳体操(介護予防教室)への送迎】

【みのりの大学(シルバー大学)への送迎】



【農産物直売所での野菜集荷】



実証運行の評価

- ★30年度から利用者数が伸び、当初目標である1日当り7人を上回る利用が安定してきており、**湊地区における公共交通空白地域対策、地域内交通として機能**してきている。
- ★周知や口コミによる利用拡大などが、時間をかけて浸透してきたものと思われるとともに、公民館主催事業での利用、介護予防教室での利用、保育園や子どもクラブ送迎などの福祉的な送迎課題を抱える利用者への対応等、**協議会（地域住民）が運行を担うことによる効果**が現れているものと評価。
- ★協議会が取り組むことで、**多用途・多目的な活用の可能性**を見出すことができた。
- ★バスの運営・運行については、経験やノウハウが蓄積されており、**地域の人材により対応できる可能性**が見出すことができた。

継続した取り組み・運行へ

今年度の取組の概要と今後の課題

会津若松市
湊まちづくりネット

2年間の実証を終え、「みなとチャンネル」「みなとバス」とともに、地域課題を解決していくためのプラットフォームとなってきたことから、協議会としては委託を受けて取り組むという局面を終え、**協議会による自主的な取り組みとして継続していく**。市は、協議会の取り組みを、集落支援員の設置や維持費の補助という形で支援・連携を継続していく。

会津若松市

事務局体制の強化

湊まちづくりネットワーク

システムの
保守・管理



運行費用
への補助

みなとチャンネル

<基本方針>

- ・運用は協議会が継続
- ・通信料は自己負担に
- ・機能・サービスの充実を図り、利用者を増やしていく

<課題>

- ・通信料が自己負担になったことにより、利用を継続しない人が出てきている

集落支援員の設置



更なる活動の展開

みなとバス

<基本方針>

- ・現在の運行内容を継続
- ・利用に至らない集落や利用者の確認と掘り起こし
- ・公共交通空白地有償運送の登録を目指す

<課題>

- ・有償化に向けた体制の強化
- ・無償貸与後の車両の確保

今後の取組の展望

会津若松市
湊まちづくりネット

【地域内交通みなとバス】



【湊産農産物直売所】



平成29年11月12日
AM10:00~14:00
会津若松市基幹集落センター
(会津若松市湊町)
大人:2,000円 小学生:1,000円
ホームページでも情報を掲載しています。
<http://www.minatomachi.sakura.ne.jp>

イベント盛りだくさん!!

●そば口上 ●もち・そばまつり
●人形浄瑠璃 ●お祭り
●お祭り音楽 ●お祭り歌謡

●お祭り音楽(中学生) ●お祭り歌謡(中学生)
●お祭り音楽(小学生) ●お祭り歌謡(小学生)

要予約200名様先着順
お申し込み・問い合わせ: 湊まちづくりネット
TEL 0242-93-2461
FAX 0242-93-2462
info@minatomachi.sakura.ne.jp

【もち・そばまつり】

【地域づくりビジョンの将来像・目標】

みんなと地域が輝き続けるまち
(持続的な地域運営)

地域に必要なことは、できる限り
地域で支えあい賄っていく

共助・支えあい

みなとチャンネル

協議会お知らせ	町内会回覧板
市役所お知らせ	防災・避難情報
高齢者見守り	バスロケ・予約
御用聞き	道路ライブカメラ

地域情報の
発信・共有



【みなとチャンネル】

イベント
企画・実施



タクシー相乗り
マッチング

買物代行

健康相談

生活支援
見守り



学校給食への食材提供



老人ホームへの
食材提供



地域の課題を自分達で解決しようと始めたこの取り組みは、まだ走り出したばかりです。湊地区の未来を乗せて「みなとバス」が走り続け、そして地域が輝き続けられるよう、これからも、みんなで取り組みを進めていきたいと思います。